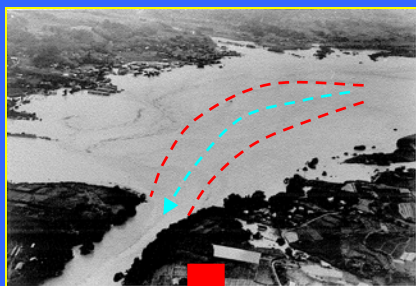


※「かわらんべ」とは、「天竜川総合学習館」の愛称で、伊那谷の方言では、「カップ」のことを意味します。

- 天竜峡の上流の川路・龍江・竜丘地区は、昔から何度も洪水の被害に見舞われてきましたが、昭和60年より国・長野県・飯田市・中部電力の4者で治水対策事業を行い、平成14年に完成しました。
- 天竜川総合学習館かわらんべは、治水対策事業の完成に合わせて災害時の防災拠点として建設されました。平常時は、水害や治水の歴史、流域の自然、環境、文化などを学習できる施設で、地域のコミュニティ施設としても利用できます。
- 子どもから大人まで楽しく学べる体験講座を、年間約200講座開催しています。

S36災害の被災状況



かわらんべ

治水対策事業で生まれ変わった
川路・龍江・竜丘地区(H14)

「かわらんべ」外観と自然体験講座



天竜川に関する水害や治水の歴史などを展示

位置図



かわらんべ

さんえんなんしんじょうしゃどうてんりゅうきょう
三遠南信自動車道天龍峡ICより車で約5分

魚や虫とりなどの自然体験や、防災講座・水質調査・工作・料理・歴史・民俗・文化・芸術などをテーマとした体験講座を行っています。
講座の様子や予定はホームページで詳しく紹介しています。



<http://www.kawaranbe.net/>

【問合せ先】 天竜川上流河川事務所 TEL 0265-81-6414

【アクセス】 中央自動車道「飯田IC」より車で約30分